

避難所って何をするところ?
外国人も行っていいの?

同じ地域に住む外国人と日本人が災害について一緒に考える機会を作り、外国人に地震などについて知つてもらうとともに、地域連携を促します。

地域の日本人と外国人が災害について話し合う、意見交換会の開催

災害について学んだり、話し合ったりする会を、飯能市(12/13)、久喜市(1/29)、川口市(2/23)で開催します。意見交換会には地元の外国人や市役所の防災担当職員などが参加し、地域の防災について一緒に考えます。



留学生が避難訓練に参加

防災訓練・避難所訓練の開催や、多言語案内板等の作成

外国人が参加できる防災訓練等を、北本市(8/26)、宮代町(9/29・30)、上尾市(10/8)で開催しました。上尾市では、タレントのダニエル・カール氏を講師に迎え、東日本大震災で外国のニュースが事実よりおおげさな報道をしていましたが、東北の避難所へ物資を運んだ話などを聞いていただきました。

また、今後宮代町では、外国人にも分かりやすい、多言語の避難所案内板を作成する予定です。



ダニエル・カール氏による講演(上尾市)



日本語で普通の会話はできるけど、
ニュースの言葉は難しくて理解できない。
すごく揺れて電気も消えたけど、
いったい何が起きたの? どうすればいいの?

災害時や防災活動の支援をするボランティアを育成します。

「災害時に役立つ『やさしい日本語』セミナー」の開催

災害が起きると、避難所の案内、電車の運行状況、停電のお知らせ、給水車が来る時間など、たくさんの情報を手に入れなければいけません。外国人にとって、普段聞き慣れない言葉で発信される情報は理解しにくく、危険情報を得られないことで命に関わる恐れもあります。

しかし、埼玉県内だけでも約12万人、149の国と地域^{*}の外国人が住んでおり、そのすべての言語の通訳を探したり、翻訳したりすることは不可能です。

そこで、外国人にも分かりやすい言葉で話しかけたり、情報を分かりやすく伝えたりするための「やさしい日本語」セミナーを開催し、外国人支援をしている方、行政関係者、外国出身者など95人が参加しました。

^{*}2012年11月末現在

